



社長のひとりごと



2/5は結婚記念日でした！25才で結婚したので24周年？ 25?? もはやよくわかりません・・・

記念日の一週間ほど前の夜、夕飯を食べ終わって一段落している時間。カミサンはYouTubeで大好きな犬の動画を見るひとときです。YouTubeを見るカミサンに「そういえばもうすぐ結婚記念日だ！」と伝えたら「ああ〜」と言った。「どっかご飯でも食べに行く!？」と言うと「う〜〜ああ〜」とかしこい言いませんでした・・・僕の話は完全に上の空。「ちえちえちえ〜〜」ってカンジですよホント。まーいいんですけどね！

子供が生まれてから僕への興味が急降下しましたが、黒柴のハナを飼ってからさらに地中深くまで僕へ興味が下がりました。

まーいいんですけどね！

せっかくなので、地元のカフェにケーキを卸している友人に特性タルトをナイショで注文しました！カミサンの好きな芋栗てんこ盛りのやつ。この原稿はまだ結婚記念日前に書いているので、当日の結果は僕もわかりませんが、喜んでくれたかな？まーいいんですけどね！



居心地のいい家づくり ～押し入れを見直す～

1. 全部出してみる

押し入れには何を入れていますか？ 押し入れは、主に布団を入れるように作られていますが、最近では、布団以外の物を入れている家も多くあります。押し入れは奥行きが深いので、ついつい奥に使わない物が入ってしまい、そのままになりがち。一度全てのモノを出してみましょう。全部出すのは大変だと思われるかもしれませんが、出すことにはそんなに時間はかかりませんので、ぜひ全部出して確認してください。

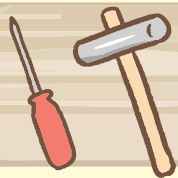
2. 棚を見直す

押し入れに布団以外の物を入れている場合、棚を増やさないで物を平面にだけ並べてしまう事になります。全部物を出したら、今度はホームセンターなどで売っている押し入れ専用の棚や3段階ボックスを足して、中に棚を増やしましょう。そうするとより多くの物が入りますし、重ならないので下の物も取り出しやすくなります。



3. 布団は圧縮する

普段使わない布団が入っている場合は、圧縮袋を使って圧縮すると、スペースに余裕ができます。その時にシーツなども一緒に圧縮しておくと、いざという時にすぐにシーツを掛けて使うことができます。圧縮すると、布団を立てて収納する事もできるようになるので、押し入れのスペースも有効活用できます。



しゅんたろう



の現場レポート



大工さんの腕のみせどころ。造作工事で職人技！

造作工事中の現場で見慣れない道具で作業する大工の新井さんを見ました！ 両手で握っているのは槍鉋(ヤリガンナ)という大工道具だそうです。いわゆる普通のカンナが発明されるずっと前から用いられてきたカンナで法隆寺などもこの道具で仕上げられているそうなんです。新井さん曰く、通常のカンナでは仕上げられない凹凸もこれなら大丈夫！なんだそうです。そこまで丁寧に仕事をしてくれる新井さん、頼もしいです！



道具を大切にメンテナンスしていたり、こだわりを持っている大工さんは仕事も技術もしっかりとしていて安心して仕事を任せられる大工さんの特徴でもあります。

もしも大工さんの仕事を見る機会があったら大工道具もチェックしてみてくださいね。

大工の新井さんはこんなひと！

新井さんの担当する現場はいつ行っても整理整頓されています。使う人の目線や細かい仕上りを意識して作業をしている姿はものすごくカッコイイです！

工事部 三宮



槍鉋だけではなく新井さんの扱う大工道具はどれもバカバカに手入れがされています。

するりんの 駿河屋ニュース



恵方巻きで福わ内



2月の節分、みなさんも豆まき、恵方巻き食べましたか？ 私たちは前日の土曜日にスタッフで恵方巻きをつくって美味しくいただきました。こういった縁起を担ぐ風習が好きなのは建築関係に意外と多いような気がするんですよ。建築関係は地鎮祭や上棟祭などで神様にお願いする機会も多いですから。

私たち駿河屋のスタッフも縁起は気にする方だと思いますが、豆まきはモデルルームの掃除が大変なことになりそうなのでパスしました ^^;



東北東に向かって願いを込めて！「無言」となると笑ってしまうみたいです。

イベント

田んぼ体験イベント 開催決定！



イベントの先行告知です！
今年も田んぼ学校の開催が決まりました！
昨年と同じ埼玉県宮代町の『新しい村』さんの田んぼをお借りしての開催です。
東武スカイツリーライン「東武動物公園駅」から徒歩15分ほどの場所です。

【開催日】

田植え 6月9日【日】※雨天でも決行
稲刈り 10月6日【日】(予備日 13日【日】)
※小雨決行、台風などの際は翌週



参加をお考えの皆様、予定を空けておいてください！！
詳細は4月頃からホームページで発表します！



職人技発表会 ～オープンハウス～ 開催のお知らせ

職人技発表会は、完成したばかりのお家をお借りして駿河屋の職人さんの会「駿和会」の職人技が創る住まい、本物の素材に触れていただける機会となります。
現地には担当者がおりますので素材や設計についてのご質問等にお答え致します。



※ 使用している画像は実際のものとはことなりますが、駿河屋で施工させていただいたものを使用させていただいております。



※ 再利用して生まれ変わる欄間・梁・床板も見どころのひとつです

【日時】 3月16日(土)

①10時～②11時～③13時～④14時～⑤15時～

【場所】 渋谷区代々木

最寄り駅 小田急小田原線「参宮橋」駅 徒歩6分

※ご住所詳細はご予約後、郵送にてお伝えいたします

組数限定、完全予約制

- ・お電話・メールにてお問い合わせ、ご予約をお願いします
- ・定員に達し次第お申込みを締め切らせていただきます

設計のポイント



設計担当 佐々木

築33年の木造2階建ての和風住宅の改修工事。

今回のリフォームでは主に耐震性と断熱性（省エネ）を上げつつ、既存の趣のある柱や鴨居、そして床や天井の板材などは生かしながら魅力ある“和”の空間に仕立てるという難度の高いものでした。耐震や壁の内部におこる結露、そして断熱性（省エネ）などのシミュレーションを繰り返し行い、永く安心して暮らせるように性能にはこだわりました。特筆すべきは断熱住宅向きではない柱を見せたお洒落な和風の住宅にもかかわらず低炭素住宅（二酸化炭素排出の削減を推進できる家）相当の基準まで性能を上げた事です。壁・天井の珪藻土、檜の無垢フローリング等自然素材も豊富に使い素敵な“和”の住宅が完成しました。

お家に合った自分好みの家具って造れるの？

駿河屋では無垢・天然木のオーダー家具を一緒につくれます。住宅とともに必要となってくる家具ですが、その家具の製作にも関わることが出来ます。工房にいてやすりをかけたり、塗装をしたり、家族で家具製作の一端を体験することで、より愛着もわきますし、子供たちも世代を越えて大切にしてくれるはずです。



駿河屋の倉庫にも一枚板をストックしています

駿河屋の倉庫には現在【セン】【カバ】【ヒメコマツ】【クリ】【タモ】の木が乾燥中です。東京の気候に馴染んでいますのですぐに家具製作がおこなえます。

－ 参考価格 －

テーブル制作代 セミオーダー ￥300,000～(税別)
フルオーダーはご相談(別途料金)



内装だけじゃないんです！ 外装もおまかせください！！

「戸建て住宅だけど外壁塗装のタイミングがわからない」という方が多いようです。たしかに外壁は色や汚れも家ごとに違うので分かりづらいですね。

使っている塗料を調べてみる

壁などに使う塗料には耐用年数というものがあります。これを目安にするとだいたいの塗装時期のタイミングがわかります。

一般的な塗料の耐用年数

- ・アクリル系塗料 4年～7年
- ・ウレタン系塗料 12年～14年
- ・シリコン系塗料 13年～15年
- ・フッ素樹脂塗料 14年～20年



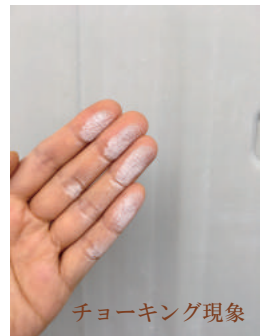
防水性が完全になくなるまでに塗り替えることが大切です

塗料がわからない、いつ塗ったのかわからないという場合は、簡単な見分け方として塗膜のひび割れや剥がれ、チョーキング現象等で判断できます。チョーキング現象（白亜化現象）とは手で壁を触った際に手に白く粉状の物が付きます。壁や塗装面がそのような状態の場合には塗装の防水性が失われているので塗り替えの時期だと考えて良いでしょう。

駿河屋さんは内装だけかと思ったとよく言われますが、お家のことならなんでもオーケーです！ 塗り替えが遅れると大きな工事が必要にもなり費用もかさみますのでお早めにご相談ください！



工事部 黒田



チョーキング現象

お家メンテナンス ～この季節にすることは？～

そろそろ春の気配を感じ始めるこの季節。温かくなってくると窓を開ける機会も増えてきますので網戸はホコリを落として穴などが空いていたら補修をしておきましょう。梅雨明けなどにおこなう「虫干し」もこの時期に一度おこなっておくとより効果的です。カーペットや畳を上げて日光と風に当ててカビや虫の害に備えましょう。虫干しは天気が続いて乾燥した日におこなってくださいね。

寒い冬の間がんばってくれたお家は傷みがないかを点検してください。外壁、屋根などを水洗いしてキレイに保つと長持ちしますよ。そろそろシロアリの活動時期なので羽アリを見つけたら要注意です。



ニュースレターをお届けしているみなさまへ

ニュースレターは「空まめの木」から「するがのもり通信」へ

いつもに駿河屋のニュースレターをお読みいただきありがとうございます。

今月号よりニュースレター「空まめの木」はタイトルを「するがのもり通信」とリニューアルいたしました。それに伴い、毎月発行から年4回の季刊誌へと変更いたします。毎月楽しみにしてくださっていたみなさまには大変申し訳ありませんが、内容も新たににより親しみやすく駿河屋の情報をお届けしたいと思っておりますので今後とも宜しくお願い致します。

家づくりをきっかけに「体と心がよるこ暮らし」を考える

注文住宅 リフォーム 不動産 **駿河屋** 創業1657年 株式会社 SINCE 1657
いーにほん おーがつく



0120-124-029

〒131 - 0033 東京都墨田区向島 1 - 24 - 16 - 1 階
<https://www.surugaya-life.jp> info@surugaya-life.jp



駿河屋メルマガ
「厳選素材住宅論」